

## ドローンやラジヘリによる「イネカメムシの一斉防除」が行われました

昨年、海部南部地域で甚大な被害を引き起こしたイネカメムシについて、ドローンやラジヘリを活用した一斉防除が実施されました。イネカメムシの防除適期は「出穂期」であり、海部南部地域の主要品種である「あきたこまち」「コシヒカリ」「あいちのかおり SBL」それぞれの出穂期に合わせて防除されるよう、生産者及びJAあいち海部担当者により入念な防除計画が立てられました。

「あきたこまち」及び「コシヒカリ」の出穂期は7月上旬から中旬であり、ドローン及びラジヘリによる防除が行われました。梅雨時期に当たるため、計画通り防除ができない日がありましたが、生産者やJAあいち海部担当者の努力により、雨の合間を縫いながら何とか予定していた地区全てで防除を行うことができました。

「あいちのかおり SBL」の出穂期は8月中旬であり、主な作付け地区である十四山地区でラジヘリによる防除が行われました。十四山地区は昨年最も被害が大きかった地区であり、徹底的な防除を行うため地区全体で2回防除が実施されました。防除後の調査では、イネカメムシの密度が大きく低下していることが確認され、防除の効果がしっかりと発揮されていました。



ラジコンヘリによる防除

## 外来害虫にご注意ください

## 【クビアカツヤカミキリ】

繁殖力が非常に強く、幼虫が1～3年間樹木の中に潜んでモモ・スモモ・サクラ・ウメなどの樹木の中を食い荒らし、衰弱、枯死させます。被害の拡大を防ぐためには、定期的に樹木を点検し、成虫、フラス（幼虫が樹内を食害しながら排泄する糞と木くずが混じったもの）を早期に発見することが大切です。



食入孔から出たフラス



成虫

(写真は愛知県農業総合試験場提供)

防除方法等詳しくは、「あいち病害虫情報」令和6年度病害虫発生予察特殊報第1号、第2号をご覧ください。  
<https://www.pref.aichi.jp/site/byogaichu/yosatu2024.html>

## 【トマトキバガ】

1年に複数の世代が発生し、成虫は夜行性で日中は葉の間に隠れていることが多いです。茎葉の内部に幼虫が潜り込んで食害し、孔道を形成します。葉の食害部分は表面のみ残して薄皮状になり、白～褐変した外観になります。果実では、幼虫が穿孔侵入して内部組織を食害するため、果実表面に直径数mm程度の穴が空いて腐敗してしまいます。



成虫(上)と幼虫(下)



トマト果実への食害

(写真出典 農林水産省植物防疫所原図)

## 今後の活躍に期待！ 新規就農者の皆さん

J A あいち海部では令和3年から新規就農支援事業を立ち上げて、研修受入農家や関係機関と協力体制を組んで新規参入者の実習や座学による研修及び就農に向けた経営計画の作成支援を実施しています。本年6月からAさん(35歳)がイチゴ経営を、7月からネギ経営でB、Cさん夫婦(25歳、24歳)、8月からミニトマト経営でDさん(22歳)が新たに経営を開始しました。各自、研修で学んだ技術や知識を活かして一日でも早く農業経営が軌道に乗るよう、研修受入農家を始め関係機関も支援を継続していきます。

この他ここ2、3年で新規に独立自営を始めた方々もいます。津島市在住のEさん(36歳)やFさん(54歳)、Gさん(29歳)は主に愛西市で、大治町在住のHさん(47歳)は主にあま市でそれぞれ露地野菜の経営を開始しています。また名古屋市在住のIさん(40歳)は弥富市でミニトマト経営を開始しています。各自、早く地域に溶け込んだ経営が実践できるよう期待しています。

また、数年前からレンコン経営で新規に就農した20歳代後半～40歳くらいまでの若手の新規就農者が数名います。彼らは情報交換や勉強会等によって、技術向上に取り組んでいます。先日は農起業支援ステーションでの就農希望者向け説明会に使う「レンコン経営PR動画」の撮影に協力いただきました。

この他にも社会人経験を経た後、親元就農している方々や雇用就農の方も水田作経営や露地・施設野菜経営等で複数おられます。

しかしながら海部地域は愛知県内の他地域に比べて、青年農業者数や新規就農者数が少ない状態にあります。産地の活性化を促す方策の一つとして、更に多くの新規就農者の確保と育成に向かって、関係機関と連携して取り組んでいく必要があります。



レンコン若手農家の皆さん



H氏とモロヘイヤほ場



イチゴの定植後管理をするA氏(左)と畝を整備するD氏(右)

## 海部地域農業者セミナー

農業改良普及課では、農業者向けのセミナーを下記のとおり開催しますので、是非御参加ください(第2回はJ A あいち海部農産部担い手課との共催(新規就農者セミナー)で開催)。

第2回	対象者	新規就農者(研修生)、女性農業者、その他簿記の基礎を学びたい方
	内容	日 時：令和6年11月15日(金) 午後1時～午後3時30分 場 所：J A あいち海部北部営農センター2階研修室 テーマ：農業簿記記帳から申告までの基礎、農業経営における雇用労働力の活用
第3回	申込み先	農業改良普及課 Tel 0567-55-7611 Fax 0567-25-8943 E-mail ama-fukyu@pref.aichi.lg.jp 又は J A あいち海部農産部担い手課
	対象者	女性農業者、青年農業者、その他参加希望者
	内容	日 時：令和6年12月12日(木) 午前10時～午後0時30分 場 所：J A あいち海部南部営農センター2階学び舎 テーマ：安心安全な農業機械の管理と使い方 ～耕運機・管理機～
	申込み先	農業改良普及課 Tel 0567-55-7611 Fax 0567-25-8943 E-mail ama-fukyu@pref.aichi.lg.jp